

学校一礼

～自分を・人を・場を

『考える子』～

12月の正門掲示板

令和3年も、ついに師走を迎えました。12月の正門掲示板には、担任の早野先生と1年生全員によるにぎやかなクリスマスツリーが飾られました。1年生はもちろん自分の飾りがどれか分かっている、聞くと「これ」と教えてくれます。正門に立っていただいた交通安全協会の方が写真に収めておられました。



なかよし集会(人権集会)

11月24日(水)、なかよし集会を実施しました。人権集会のことです。私たちが目指すものは、「誰もが安心して学ぶことのできる、居場所のある学級・学校づくり」です。その実現のための取組の一つとして、この「なかよし集会」を行っています。

今回の校長の話では、以下のことを子どもたちに伝えました。

休み時間は、次のどれを大事にするべきだと思うか。

「クラス全員で遊ぶ。」「何人かで好きに遊ぶ。」「一人で過ごす。」

わたしは、どれも大事にしてほしい。これらが日によって入り混じってほしい。もっと言うなら、安心して一人過ごしもできるような集団であつたらいいと思う。「本当は今日は○○したいのに、言えない」とか、「断つたらもう誘ってくれないかもしれないから、付き合っておかないと・・・」とか、人の顔色をうかがって、自分のしたいことができないような関係ってどうなんだろう。

いろんな人が集まって学校、いろんな人がいて世の中。学校や学級が、みんなが安心して過

ごすことのできる場所になるためには、「人はそれぞれ違うということを知り合って、尊重する」ことではないかと思う。

学び発表公開授業

11月26日(金)、5・6年生の学び発表公開授業を行いました。かつて伊倉小では、秋の文化的行事として「伊倉小フェスティバル」を開催していましたが、昨年度からコロナ感染症対策により中止していました。そんな中でも「子どもの文化的な発表も見たい。」という保護者の声は聞こえていました。そこで、今年度は学年別に発表や交流の場を設けようという方針を決定し、5・6年生がその口火を切って実施したものです。

5年生は、「水俣に学ぶ」からの発表でした。「水俣病」について学んだこと、本当のことが分からず間違っただいによって差別が広がったこと、環境都市として再生するまでの水俣市の取組、自分たちはどう生きるかなど、様々な角度から発表してくれました。



6年生は修学旅行を中心に、その事前と事後の学習を通しての学びを発表しました。「戦争」の悲惨さ、「原爆」の恐ろしさ、今ある「平和」の尊さについて、語り部の方の講話やそれぞれの見学地で学んだこと、自分たちがこれから先、地球上で生きていくうえで大切にしなければならないことについて思いを伝えました。さらに、ホテルやハウステンボスといった旅行での楽しいエピソードも添えてくれました。



どちらの学年も、深い確かな学びができたことがよく伝わりました。他の学年も、1月以降にこの「学び発表会」を計画しており、すでに準備を進めています。お楽しみに。そして、ご多用の中とは思いますが、参観をよろしく願います。

※12月11日(土)に実施した持久走大会にはたくさんの方に参観いただき、ありがとうございました。すべての子どもたちに同じように応援される姿に感動しました。また、当日、多くの保護者の方が伴走ボランティアで走ってくださいました。伊倉小の持久走大会ならではの光景でした。行事をまた一つ終えられたこと、心から感謝です。